

PRI 報告フレームワーク

上場株式

2024

最終改訂日：2024年1月

本資料は日本語参考訳です。英語の PRI REPORTING FRAMEWORK も併せてご確認ください。

日本語版と英語版で相違が生じている場合には、英語版の内容が優先します。

本資料は情報提供のみを目的としています。従って、投資、法律、税務、その他いかなる形式の助言も意図しておらず、投資その他の意思決定を行う際に依拠することを意図していません。すべてのコンテンツは、著者および発行者が助言を提供するものではないことを理解した上で提供されています。PRI アソシエーションは、参照される可能性のある Web サイトまたはその他の情報リソースのコンテンツについて責任を負わず、そこに含まれる情報を保証しません。PRI アソシエーションは、誤記や脱落、この文書に記載された情報に基づいて行われた決定や行動、またはそのような決定や行動に起因する損失や損害について責任を負いません。すべての情報は「現状」で提供され、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用から得られる結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。

著作権 © PRI Association Limited (2024). 無断複写・転載を禁じます。PRI アソシエーションの書面による事前の同意なしに、このコンテンツを複製したり、他の目的に使用したりすることはできません。

目次

全体的なアプローチ	5
重要課題(マテリアリティ)分析[LE 1]	5
LE 1	5
ESGトレンドのモニタリング[LE 2]	8
LE 2	8
投資前	11
調査への ESG の組み入れ[LE 3、LE 4]	11
LE 3	11
LE 4	14
ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ[LE 5、LE 6]	17
LE 5	17
LE 6	18
パッシブ運用投資[LE 7、LE 8]	21
LE 7	21
LE 8	23
投資後	25
ESG リスクの管理[LE 9、LE 10]	25

LE 9	25
LE 10	27
パフォーマンスのモニタリング [LE 11]	29
LE 11	29
ESG スクリーニングの開示 [LE 12]	30
LE 12	30

全体的なアプローチ

重要課題(マテリアリティ)分析[LE 1]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション		PRI 原則	指標種別	
	ゲートウェイ	該当なし	重要課題(マテリアリティ)分析		1	コア	
<p>貴組織は上場株式戦略全体について、重要な ESG 要因を特定して組み入れる正式な投資プロセスを定めていますか。</p>							
			組織内で運用する上場株式サブ戦略				
			すべてのサブ戦略	(1)パッシブ株式	(2)アクティブ(クオンツ)	(3)アクティブ(ファンダメンタル)	(4)その他の戦略
(A)はい、投資プロセスに重要なガバナンス要因を組み入れている			[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象				
(B)はい、投資プロセスに重要な環境および社会要因を組み入れている			[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]

(C)はい、投資プロセスに、自組織の平均的な保有期間を超える重要な ESG 要因を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(D)いいえ、正式なプロセスを定めていない。運用担当者が自己の裁量で重要な ESG 要因を特定している	○	○	○	○	○
(E)いいえ、重要な ESG 要因を特定して組み入れる正式または非公式なプロセスを定めていない	○	○	○	○	○

説明	
指標の目的	<p>本指標の目的は、重要な ESG 要因に対する署名機関の調査の範囲と深度を評価し、それが投資プロセスの一部として形式化されているかどうかを評価することです。署名機関がより長期的な視点で考え、上場株式の分析で重要なガバナンス要因以外にも広げ、組織の正式な投資プロセスまたは投資体系に組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスにより、ESG データやトレンドの分析を行わなければ判明しないかもしれないダウンサイド・リスクを特定し、管理できるようになります。この分析を投資プロセスに正式に組み入れることで、組織内の首尾一貫性の確保が促進されます。</p>
追加報告ガイダンス	<p>重要な ESG 要因を特定する正式なプロセスを定めるには、次に掲げる 3 つの手順の一部または全部を組み入れる必要があります：</p> <ul style="list-style-type: none"> (i) 証券調査：株式評価に影響を及ぼす（またはエンゲージメントに際しての話題になる）可能性のある重要な ESG 要因を特定する。 (ii) 証券評価：例えば、期待投資収益率や株価収益率、予想利益、キャッシュフロー、財務基盤に調整を加えることで、財務分析・評価に重要な ESG 要因を組み入れる。 (iii) ポートフォリオ管理：セクター配分や地理的配分などを通して、リスク管理やポートフォリオ構築に関する決定に ESG 分析を組み入れる。 <p>本指標では、「正式な」投資プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。</p> <p>特定の会社またはポートフォリオ全体の構成に関する投資判断をするときに、重要な ESG 要因を従来からの財務要因と併せて特定し、評価することで、リスクの低減や投資収益の向上を図ります。投資家はさまざまな技法を用いて、特定の ESG データや広範な ESG のトレンドを分析しなければ表面化しない可能性のあるリスクおよび機会を特定しています。ESG 要因の意義と重要性は企業やセクター、市場によって異なります。本指標は、意義や重要性に関する署名機関の最終判断には関係なく、署名機関の調査プロセスの範囲に関係します。</p>
他のリソース	<p>その他のガイダンスについては、責任投資の入門ガイド：上場株式 (An introduction to responsible investment: listed equity) および PRI のウェブページ 上場株式 を参照してください。</p>
ロジック	
依存関係	[OO 21]

ゲートウェイ	該当なし		
評価			
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。		
	<p>英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A~C から 3 つすべてを選択した場合は 50 ポイント。 A と B の両方の場合は 40 ポイント。 A と C の両方、あるいは B と C の両方の場合は 30 ポイント。 A~B から 1 つを選択した場合は 20 ポイント。 C の場合は 10 ポイント。 D、E の場合は 0 ポイント。</p>	および	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A から C の回答選択に付き、各選択項目のポイント比率は以下のとおりです: すべて (1) の場合は 50/3 ポイント。 過半数 (2) の場合は 25/3 ポイント。 一部 (3) の場合は 12/3 ポイント。</p> <p>その他の詳細: 「D」または「E」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 該当するサブ戦略タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各サブ戦略タイプは別個のスコアを受け取ります。</p>
乗数	Moderate(中)		

ESGトレンドのモニタリング[LE 2]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション		PRI 原則	指標種別	
	ゲートウェイ	該当なし	ESGトレンドのモニタリング		1		
LE 2						コア	
<p>貴組織は上場株式戦略全体について、変化する ESG トレンドの影響をモニタリングして検証するための正式なプロセスを定めていますか。</p>							
			組織内で運用する上場株式サブ戦略				
			すべてのサブ戦略	(1)パッシブ株式	(2)アクティブ(クオンツ)	(3)アクティブ(ファンダメンタル)	(4)その他の戦略
<p>(A)はい、シナリオ分析を含む正式なプロセスがある 具体的に記入: _____ [自由記述(任意):メディアム]</p>			<p>[ドロップダウン・リスト]</p> <p>(1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象</p>	<p>[ドロップダウン・リスト]</p> <p>(1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象</p>	<p>[ドロップダウン・リスト]</p> <p>(1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象</p>	<p>[ドロップダウン・リスト]</p> <p>(1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象</p>	<p>[ドロップダウン・リスト]</p> <p>(1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象</p>
<p>(B)はい、正式なプロセスを定めているが、シナリオ分析は含まれていない 具体的に記入: _____ [自由記述(任意):メディアム]</p>			[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]

(C) 上場株式戦略に関する正式なプロセスを定めていない。運用担当者が自己の裁量で ESG トレンドが時間の経過に伴いどのように変化するかをモニタリングしている	○	○	○	○	○
(D) 上場株式戦略において変化する ESG トレンドの影響をモニタリングおよび検証していない	○	○	○	○	○

説明	
指標の目的	本指標の目的は、署名機関が、変化する ESG トレンドのレビューとモニタリングを投資プロセスの一部として形式化しているかどうかを評価することです。重要な ESG 要因が特定された後（それらが存在するか潜在的であるかの特定を含む）、変化する ESG トレンドの影響を監視してレビューするために、あらゆる上場株式のサブ戦略にわたってすべての AUM を適用する正式なプロセスを持つことは、優れた取り組みであると考えられます。さらに、このプロセスには既存の企業に対するこれらのトレンドの影響を評価するシナリオ分析が含まれている必要があります。
追加報告ガイダンス	<p>本指標では、「正式な」プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。</p> <p>本指標においては、「変化する ESG トレンド」には規制、気候、技術、および消費者需要における変化が含まれます。</p> <p>本指標においては、「シナリオ分析」は気候要因に限定されず、投資の決定に関連するその他の ESG 要因の分析も含まれます。</p>
他のリソース	上場株式投資への ESG トレンドの組み入れに関するガイダンスとケース・スタディについては、 ESG の組み入れに関するガイダンスとケース・スタディ: 株式および債券 (Guidance and case studies for ESG integration: equities and fixed income) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と対象範囲の回答オプションの最も得点の高いペアにのみ基づいて決定されます。

	<p>英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A の場合は 50 ポイント。 B の場合は 33 ポイント。 C、D の場合は 0 ポイント。</p>	<p>および</p>	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>すべて(1)の場合は 50 ポイント。 過半数(2)の場合は 25 ポイント。 一部(3)の場合は 12 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「C」または「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p> <p>該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。</p>
<p>乗数</p>	<p>Moderate(中)</p>			

投資前

調査への ESG の組み入れ [LE 3、LE 4]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 3	ゲートウェイ	該当なし	調査への ESG の組み入れ	1	コア
財務分析や株式評価または証券格付プロセスに重要な ESG リスクをどのように組み入れていますか。					
	組織内で運用する上場株式サブ戦略				
	すべてのサブ戦略	(1)アクティブ(クオンツ)	(2)アクティブ (ファンダメンタル)	(3)その他の戦略	
(A) 重要なガバナンス関連のリスクを財務分析と株式評価または証券格付プロセスに組み入れている	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース (3)一部のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース (3)一部のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース (3)一部のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース (3)一部のケース	
(B) 重要な環境・社会要因を財務分析と株式評価または証券格付プロセスに組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	
(C) 企業のサプライ・チェーンに関連する重要な環境・社会リスクを財務分析と株式評価または証券格付プロセスに組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	

(D)重要な ESG リスクを財務分析や株式評価または証券格付プロセスに組み入れていない	○	○	○	○
--	---	---	---	---

説明	
指標の目的	<p>本指標の目的は、各種投資戦略において ESG 要因が署名機関の財務分析と株式評価または証券格付プロセスでどの程度考慮されているかを評価することです。財務分析、株式評価、および証券格付への言及は、評価プロセスに定量的／定性的な情報と分析を含めることを意味します。</p> <p>本指標は、各種上場株式投資戦略における方針を把握するものです。クオンツ・プロセスの構築に ESG 要因を組み入れて、アクティブ・クオンツを始めとするさまざまな戦略を含めることは、優れた取り組みであると考えられます。</p>
追加報告ガイダンス	<p>本指標では、「財務分析」とは企業の現在のパフォーマンスを評価したり、将来のパフォーマンスを推定したりするために投資家が使用するさまざまな技法のことを指します。例としては、競争要員の分析、産業および製品の成長率の分析、キャッシュ・フロー、運用効率、流動性、支払い能力の分析、利益率分析、シナリオおよび感度分析などが挙げられます(ただし、これらに限定されるわけではありません)。</p> <p>定量的投資アプローチに関して、本指標は、投資要因とそのような要因に基づく投資戦略を立案するために使用される多数の証券のガバナンス、環境、および社会的リスクと特性(格付またはマトリクスの形式)の検討事項に関連します。</p> <p>本指標では、「株式評価」とは、投資家が企業の株式価値を見積もるために使用する手段および技法を指します。</p> <p>本指標では、「証券格付」とは、さまざまな技法を使用して、証券、発行体、または資産の特性を評価し、絶対的スケールまたは(他の証券に対する)相対的スケールを生成することを指します。証券格付では、購入、販売、または保持に対する分析者の推奨事項に言及することもあります。</p>
他のリソース	<p>その他のガイダンスについては、株式投資への ESG の組み入れに関する実践ガイド (A practical guide to ESG integration for equity investing) を参照してください。</p>
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	<p>本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。</p>

	<p>英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A~C から 3 つ選択した場合は 50 ポイント。 B と C の両方の場合は 40 ポイント。 A と B の両方、あるいは A と C の両方の場合は 30 ポイント。 B と C から 1 つ選択した場合は 20 ポイント。 A の場合は 10 ポイント。 D の場合は 0 ポイント。</p>	<p>および</p>	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A から C の回答選択に付き、各選択項目のポイント比率は以下のとおりです:</p> <p>すべて(1)の場合は 50/3 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/3 ポイント。 一部(3)の場合は 12/3 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p> <p>該当するサブ戦略タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各サブ戦略タイプは別個のスコアを受け取ります。</p>
<p>乗数</p>	<p>High(高)</p>			

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 4	ゲートウェイ	該当なし	調査への ESG の組み入れ	1	コア

財務分析、ベンチマーク選定、ポートフォリオ構築プロセスにおいて企業の ESG パフォーマンスを評価する際は、どのような情報を組み入れていますか。

	組織内で運用する上場株式サブ戦略				
	すべてのサブ戦略	(1)パッシブ株式	(2)アクティブ (クオンツ)	(3)アクティブ (ファンダメンタル)	(4)その他の戦略
(A)さまざまな重要な ESG 要因において、現在のパフォーマンスに関する定性的／定量的情報を組み入れている	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース (3)一部のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース (3)一部のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース (3)一部のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース (3)一部のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース (3)一部のケース
(B)さまざまな重要な ESG 要因において、過去のパフォーマンスに関する定性的／定量的情報を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(C)将来の事業収益や収益性にインパクトまたは影響を与える重要な ESG 要因に関する定性的／定量的情報を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]

(D)さまざまな ESG 要因において、選択されたピア・グループ内で現在、過去、および／または将来のパフォーマンスを比較できる定性的／定量的情報を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(E)財務分析、株式投資、またはポートフォリオ構築プロセスの中で企業の ESG パフォーマンスを評価する際に、重要な ESG 要因に関する定性的または定量的な情報を組み入っていない	○	○	○	○	○

説明	
指標の目的	<p>本指標の目的は、重要な ESG 要因に関する情報が、署名機関の財務分析、ベンチマーク選定、および／またはポートフォリオの構築プロセスにどのように組み入れているかを評価することです。本指標は、情報のさまざまな使用の可能性に言及しています。</p> <p>過去、現在、および将来の重要な ESG 要因の方向性を網羅、または反映する幅広い要因を含めることは、優れた取り組みであると考えられます。これらのアプローチは、アクティブ株式戦略のみならず各種投資戦略において反映させるべきものです。パッシブまたはアクティブ・クオンツでは、指数の選択もしくは構築、あるいはクオンツ・プロセスの構築に重要な ESG 要因を組み入れることで、これを反映させることができます。</p>
追加報告ガイダンス	<p>本指標では、「財務分析」とは企業の現在のパフォーマンスを評価したり、将来のパフォーマンスを推定したりするために投資家が使用するさまざまな技法のことを指します。例としては、競争力の分析、産業および製品の成長率の分析、キャッシュ・フロー、運用効率、流動性、支払い能力の分析、利益率分析、シナリオおよび感度分析などが挙げられます(ただし、これらに限定されるわけではありません)。</p>
他のリソース	<p>その他のガイダンスについては、株式投資への ESG の組み入れに関する実践ガイド(A practical guide to ESG integration for equity investing)を参照してください。</p>
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	<p>本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント)と対象範囲 (50 ポイント)の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。</p>

	<p>英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A~D から 3 つ以上選択した場合は 50 ポイント。 A~D から 2 つ選択した場合は 33 ポイント。 A~D から 1 つ選択した場合は 16 ポイント。 E の場合は 0 ポイント。</p>	<p>および</p>	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A から D の回答選択につき、各選択項目のポイント比率は以下のとおりです:</p> <p>すべて(1)の場合は 50/3 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/3 ポイント。 一部(3)の場合は 12/3 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「E」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p> <p>該当するサブ戦略タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各サブ戦略タイプは別個のスコアを受け取ります。</p>
<p>乗数</p>	<p>High(高)</p>			

ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ[LE 5、LE 6]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 5	ゲートウェイ	該当なし	ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ	1	プラス 自主開示

報告年度中に ESG 要因を株式の選定と調査プロセスに組み入れた例を示してください。

[自由記述: ラージ]

説明	
指標の目的	本指標は、署名機関が ESG 要因を株式の選定および調査に組み入れる際に、興味深い、画期的、または先進的だと考える事例を詳しく説明する機会を提供し、署名機関がさまざまな取り組みや経験を共有できるようにするものです。
追加報告ガイダンス	例としては、特定の資産に対する調査プロセスの側面や具体的なアプローチ事例が挙げられます。
他のリソース	その他のガイダンスについては、 株式投資への ESG の組み入れに関する実践ガイド (A practical guide to ESG integration for equity investing) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 6	ゲートウェイ	該当なし	ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ	1	コア

重要な ESG 要因は、株式選定、ポートフォリオ構築、ベンチマーク選定のプロセスにどのように影響しますか。

	組織内で運用する上場株式サブ戦略				
	すべてのサブ戦略	(1)パッシブ株式	(2)アクティブ (クオンツ)	(3)アクティブ (ファンダメンタル)	(4)その他の戦略
(A)重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産やセクター加重の選定に影響する	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象				
(B)重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産のポートフォリオ加重に影響する	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(C)重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で資産の国または地域の加重に影響する	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]

(D)他の形で、重要な ESG 要因はポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセスに影響する 具体的に記入: ____ [自由記述(必須):ミディアム]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(E)株式選択、ポートフォリオ構築、またはベンチマーク選定のプロセスには、重要な ESG 要因の組み入れは含まれていない	○	○	○	○	○

説明	
指標の目的	本指標により、署名機関は、評価プロセスや選定基準だけではなく、ポートフォリオの構築プロセスに ESG 要因がどの程度組み入れているかを明らかにすることができます。特定のポートフォリオまたはファンドのグループではなく、さまざまな投資戦略とすべての AUM にわたり、ポートフォリオ構築と資産選定のすべての側面に重要な ESG 要因を組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。回答オプションはポートフォリオ構築のさまざまな側面を示しており、署名機関はそこから ESG の検討事項を基に自己の方針およびリスク選好度を導き出します。
追加報告ガイダンス	統合(インテグレーション)、スクリーニング、テーマ性という3つのアプローチを用いて、ESG 要因を上場株式ポートフォリオの構築に組み入れることができます。投資家は目指す運用成果に基づいて、これらのアプローチを選択または組み合わせを行います。例えば、リスク・リターン特性の強化、特定セクターの除外、環境や社会的な目標への資金配分の拡大が考えられます。
他のリソース	上場株式投資への長期的な ESG トレンドの組み入れに関するガイダンスとケース・スタディについては、 ESG の組み入れに関するガイダンスとケース・スタディ: 株式および債券 (Guidance and case studies for ESG integration: equities and fixed income) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。

	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A~C から 3 つ選択した場合は 50 ポイント。 A~C から 2 つ選択した場合は 33 ポイント。 A~C から 1 つ選択した場合は 16 ポイント。 D、E の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点: A から C の回答選択に付き、各選択項目のポイント比率は以下のとおりです: すべて(1)の場合は 50/3 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/3 ポイント。 一部(3)の場合は 12/3 ポイント。	その他の詳細: 「E」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 該当するサブ戦略タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各サブ戦略タイプは別個のスコアを受け取ります。
「その他」の採点	「その他(D)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。			
乗数	Moderate(中)			

パッシブ運用投資 [LE 7、LE 8]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 7	ゲートウェイ	該当なし	パッシブ運用投資	1	プラス 自主開示
<p>パッシブな運用ファンドの設計において、重要な ESG 要因が加重およびティルトにどのように影響しているかを示す例を挙げてください。</p> <p>例としては、ポートフォリオ構築プロセスの側面や具体的な適用事例などがあります。</p> <p>[自由記述: ラージ]</p>					

説明	
指標の目的	本指標は、署名機関がパッシブまたはアクティブ上場株式ポートフォリオにおいて、加重およびティルトに ESG 要因を組み入れる際に、興味深い、画期的、または先進的だと考える事例を詳しく説明する機会を提供し、署名機関がさまざまな取り組みや経験を共有できるようにするものです。
追加報告ガイダンス	<p>統合（インテグレーション）、スクリーニング、テーマ性という3つのアプローチを用いて、ESG 要因を上場株式ポートフォリオの構築に組み入れることができます。投資家は目指す運用成果に基づいて、これらのアプローチを選択または組み合わせをします。例えば、リスク・リターン特性の強化、特定セクターの除外、特定の環境や社会的な目標への資金配分の拡大が考えられます。</p> <p>「加重」とは、特定の保有資産または特定の保有資産の種類が投資ポートフォリオに占める比率をいいます。これは絶対値でも相対値でも示すことができます。</p> <p>ポートフォリオの「ティルト」とは、代表的なベンチマークと比較したポートフォリオの加重を指します。ティルトは基本的に、指定するベンチマークに対する差異に当たります。</p> <p>本指標においては、「保有期間」は証券の購入と売却の間の期間です。</p>
他のリソース	パッシブ投資家の ESG の組み入れに関するその他のガイダンスについては、 パッシブ投資家はいかにして責任ある投資家になれるのか？ (How can a passive investor be a responsible investor?) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]

ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

指標 ID	依存関係	OO 19、OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 8	ゲートウェイ	該当なし	パッシブ運用投資	1	プラス

貴組織はパッシブ上場株式資産の ESG インデックスまたはベンチマークをどのように選択していますか。

- (A) カスタマイズされたインデックスを委託している
説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]
- (B) 利用可能なインデックス・プロバイダー間で手法を比較している
説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]
- (C) 市場で利用可能なさまざまなオプションのコストを比較している
説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]
- (D) その他
具体的に記入および説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]

説明	
指標の目的	本指標は、署名機関が上場株式投資のパッシブ戦略を使用するときに、ESG インデックスまたはベンチマークをどのように選択または設計するかを説明できるようにするためのものです。
追加報告ガイダンス	パッシブ運用投資を追跡するために使用される ESG インデックスまたはベンチマークは、外部のものであることや、ESG フィルターを内部で適用している署名機関によって作成されたものである場合があります。
他のリソース	パッシブ投資家の ESG の組み入れに関するその他のガイダンスについては、 パッシブ投資家はいかにして責任ある投資家になれるのか？ (How can a passive investor be a responsible investor?) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 19]、[OO 21]

ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

投資後

ESG リスクの管理[LE 9、LE 10]

指標 ID	依存関係	OO 17.1 LE、OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 9	ゲートウェイ	該当なし	ESG リスクの管理	1	コア

ネガティブ／除外・スクリーニングの対象である自己の上場株式資産がスクリーニング基準を満たすよう徹底するために、どのようなコンプライアンス手続を定めていますか。

- (A) ネガティブ／除外・スクリーニングの対象であるすべてのファンドまたはポートフォリオが確実に取引前チェックを受けるようにするための内部コンプライアンス手続がある
- (B) ネガティブ／除外・スクリーニングの対象であるすべてのファンドまたはポートフォリオに対するスクリーニング実施プロセスを監督する外部委員会を設置している
- (C) ネガティブ／除外・スクリーニングの対象であるすべてのファンドまたはポートフォリオに対するスクリーニング実施プロセスを監督する独立内部委員会を設置している
- (D) 表明しているネガティブ／除外・スクリーニングの実施を徹底するコンプライアンス手続を定めていない

説明

指標の目的	本指標の目的は、署名機関が規定のネガティブ／除外・スクリーニングが該当する全ポートフォリオを通して遵守されていることを徹底するために講じている監督および信頼醸成措置を理解することです。レビューを行い、実施状況や結果、基準の変更を監督する独立委員会を通じて監視を整備することは、優れた取り組みであると考えられます。これらの措置は、内部コンプライアンス手続と並行して実施し、補完する必要があります。
追加報告ガイダンス	本指標では、「内部コンプライアンス手続」には、ネガティブ／除外・スクリーニングの対象である上場株式ファンドまたはポートフォリオが、スクリーニング基準が正しく導入されるようにするためのスクリーニング基準や独立監査プロセスを満たすようにするための内部統制が含まれています(ただし、これに限定されるわけではありません)。本指標では、「外部委員会」は、特定のファンドに対して、または特定の組織レベルで、スクリーニング基準の導入、レビュー、作成時に署名機関組織に独立した助言とガイダンスを提供する機関を指す場合があります。独立した内部委員会は、リスク・チームやコンプライアンス・チームなど、投資の意思決定責任を持たない上級スタッフで構成される場合があります。

他のリソース	スクリーニングに関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド:スクリーニング (An introduction to responsible investment: screening) を参照してください。	
他の基準の参照	OECD 機関投資家の責任ある企業行動 (OECD Responsible Business Conduct for Institutional Investors)	
ロジック		
依存関係	[OO 17.1 LE]、[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	<p>本指標全体で 100 ポイント。</p> <p>A～C から 3 つ選択した場合、または A と B を両方とも選択した場合は 100 ポイント。</p> <p>A と C の両方、あるいは B と C の両方の場合は 66 ポイント。</p> <p>A～C から 1 つ選択した場合は 33 ポイント。</p> <p>D の場合は 0 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p>
乗数	Moderate(中)	

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 10	ゲートウェイ	該当なし	ESG リスクの管理	1	コア

過半数の上場株式資産について、重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、リスク管理プロセスに組み入れるための正式なプロセスはありますか。

	組織内で運用する上場株式サブ戦略			
	すべてのサブ戦略	(1)アクティブ (クオンツ)	(2)アクティブ (ファンダメンタル)	(3)その他の戦略
(A)はい、重要な ESG リスクと ESG インシデント、および個々の上場株式保有に対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(B)はい、重要な ESG リスクと ESG インシデント、および類似するリスクやインシデントにさらされるその他の上場株式保有に対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(C)はい、重要な ESG リスクと ESG インシデント、およびスチュワードシップ活動に対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(D)はい、重大な ESG インシデントに関する定量的／定性的情報の臨時的レビューが正式なプロセスに含まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(E)重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、リスク管理プロセスに組み入れるための正式なプロセスはなく、運用担当者が自己の裁量で重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、組み入れている	○	○	○	○
(F)重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、リスク管理プロセスに組み入れるための正式なプロセスはない	○	○	○	○

説明	
指標の目的	本指標の目的は、署名機関のリスク管理プロセスが、重要な ESG リスクと ESG インシデントを投資判断および投資調査に正式に組み入れているかを評価することです。理想的には個々の資産レベルで ESG リスクと ESG インシデントを定期的に特定して組み入れるための正式なプロセスを定めて、適切なレベルの監視と精査を行い、投資判断に適切に反映させることは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスは、バリュエーションまたは事業モデルにとって重要な影響があるインシデントを特定できる必要があります。また、評判リスクの点で投資マネージャーにとっても影響がある可能性があります。
追加報告ガイダンス	本指標では、「正式な」プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。
他のリソース	その他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド: 上場株式 (An introduction to responsible investment: listed equity) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	<p>本指標全体で 100 ポイント。</p> <p>A～D から 4 つ選択した場合は 100 ポイント。</p> <p>A～D から 3 つ選択した場合は 75 ポイント。</p> <p>A～D から 2 つ選択した場合は 50 ポイント。</p> <p>A～D から 1 つ選択した場合は 25 ポイント。</p> <p>E、F の場合は 0 ポイント。</p>
乗数	Moderate(中)

パフォーマンスのモニタリング[LE 11]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 11	ゲートウェイ	該当なし	パフォーマンスのモニタリング	1	プラス 自主開示

ESG 要因を上場株式の評価またはポートフォリオ構築に組み入れることが、それらの資産の実現した投資収益にどのように影響したかを示す例を挙げてください。

関連する資産、セクター、または資産クラスの財務上の収益に ESG 要因とリンクを組み入れる手法を例として説明してください。

[自由記述: ラージ]

説明	
指標の目的	本指標により、署名機関はさまざまな取り組みおよび経験を共有でき、そして PRI は、ESG 要因が実現した投資収益に影響を及ぼした例から成る証拠を収集することができます。
追加報告ガイダンス	実現した投資収益への影響が特定できる統合（インテグレーション）、スクリーニング、テーマ性のある戦略への興味深いアプローチを例として挙げるすることができます。これらの例により、相関関係を浮き彫りにして、因果関係を説明することができます。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

ESG スクリーニングの開示[LE 12]

指標 ID	依存関係	OO 17 LE、OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
LE 12	ゲートウェイ	該当なし	ESG スクリーニングの開示	6	コア

ESG スクリーニングの対象となるすべての上場株式資産について、顧客がどのようにして ESG スクリーニングとその影響を理解できるようにしていますか。

署名機関は、ESG スクリーニングが単独、または他の戦略と組み合わせて適用されているすべての上場株式資産について公開または非公開、(資産が公表を回避するための商業協定または顧客合意の対象になっている場合のみ)に共有された情報に言及する必要があります。

- (A) ESG スクリーニングのリストを共有している
- (B) ESG スクリーニングにおける変更を共有している
- (C) ESG スクリーニングの影響(ベンチマークからの逸脱やセクター重み付けに対する影響など)を説明している
- (D) ESG スクリーニングの対象となるすべての上場株式資産に関する上記の情報を共有していない

説明

指標の目的	本指標の目的は、署名機関が ESG スクリーニングの適用について顧客に対してどの程度の可視化を図っているか、および同スクリーニング・ポリシーが一貫して適用されているかを判断するためのツールが顧客に提供されているかを評価することです。スクリーニングの適用およびポートフォリオへのそれらの影響は、顧客にとっては理解が難しい場合があります。最低限の基準として、署名機関はそれらのスクリーニングを顧客に説明する必要があります。例えば、顧客またはスクリーニング・ポリシーの変更によって投資運用会社が指定されたときに、それらのスクリーニングに対する変更についての更新を提供し、ポートフォリオ構造への影響を概説することは、優れた取り組みであると考えられます。
追加報告ガイダンス	回答オプション「(A) ESG スクリーニングのリストを共有している」は、上場株式資産に適用されるスクリーニング基準を指しており、それらによって影響を受ける企業に適用されるスクリーニング基準を指しているわけではありません。
他のリソース	スクリーニングに関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド: スクリーニング (An introduction to responsible investment: screening) を参照してください。

ロジック

依存関係	[OO 17 LE]、[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし

評価		
評価基準	<p>本指標全体で 100 ポイント</p> <p>A～C から 3 つすべて選択した場合は 100 ポイント。 A～C から 2 つ選択した場合は 66 ポイント(A の選択は必須)。 A の場合は 33 ポイント。 D の場合は 0 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p>
乗数	Moderate(中)	